



第 326 号
令和 8 年 10 月 8 日
瀬戸市立幡山中学校



開校 80 周年を迎えて

瀬戸市立幡山中学校長 梶田 明敬



各地で豪雨をもたらした秋雨前線も落ち着き、さわやかな秋空が広がる季節となりました。スポーツの秋です。アジア大会が終わり、今月下旬にはアジアパラ競技大会も開催されます。中学校では新人戦や発表会、そして文化祭の合唱コンクールを間近に控え、校内には毎日すてきな歌声が響いています。

さて、幡山中学校は今年度、開校 80 周年を迎えました。本校が誕生したのは昭和 22 年(1947 年)。太平洋戦争が終わり、日本が新しい時代へ向かって歩み始めた頃のことです。当時の幡山中学校は現在の場所ではなく、幡山西小学校を本校、幡山東小学校を分校として、小学校の施設を一部借りながら、教育活動を行っていました。その後、現在の場所に校舎が建てられたのが昭和 24 年(1949 年)です。当時はまだ木造校舎で、人手不足の影響もあったのでしょうか、生徒たちも建築作業を手伝ったと伝えられています。

また、来賓玄関の横に立つ二宮尊徳像は、その木造校舎とともに設置されたものを移築したものです。77 年もの長きにわたり、幡山中学校の生徒たちの登下校を見守り続けてきたと思うと、感慨深いものがあります。

さらに、現在の鉄筋コンクリート造の本館が建てられたのは昭和 54 年(1979 年)ですが、本校で最も古い鉄筋校舎は西館です。西館は本館より 11 年早い昭和 43 年(1968 年)に建てられました。

当時は、いわゆる特別教室である家庭科室がなく、生徒たちは家から調理器具を持参したり、渡り廊下で火をこしたりしながら調理実習を行っていたそうです。こうした状況を改善するため、音楽室、美術室、理科室、家庭科室を備えた西館が建設されました。校舎の鉄筋コンクリート化が進む時代の中で、各地の先進的な校舎を視察しながら完成させたという話を聞くと、80 年にわたる本校の歴史の 1 ページ 1 ページに、地域の皆様の願いや思いが込められていることを強く感じます。

このたび 80 周年を記念して航空写真を撮影し、クリアファイルを作成しました。ファイルには、生徒から募集した 80 周年記念ロゴマークや校歌の歌詞を掲載しています。また、表面には校舎全景、裏面には幡山中学校を中心とした地域の航空写真をあしらい、全校生徒に配付しました。80 周年という節目を記念する品として、幡山中学校に思いを馳せつつ、末永く大切にしていいただければ幸いです。

20 年後には、いよいよ開校 100 周年を迎えます。今の生徒たちは 30 代半ばとなり、それぞれの立場で社会を支える存在になっていることでしょう。その姿を思い描くと、胸が熱くなります。これからも地域とともに歩み、皆様に愛される母校であり続けられるよう努めてまいります。今後とも温かいご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



2年生 野外活動

7月6日(月)～8日(水) 若狭湾青少年自然の家
スローガン
「燃え上がれ!友情のキャンプファイヤー」

少し前ではありますが、2年生は7月上旬に福井県の若狭湾にて、2泊3日の野外活動を行いました。学校を出発する時は雨でしたが、到着する頃には天候は回復し、その後は予定通り活動できました。3日間、普段の便利な環境から離れての生活でしたが、その分、仲間との語らいや活動を通して、絆を深めることができました。



後期生徒会役員選挙

9月17日(木) 6限目

幡山中学校 体育館・各教室

本校では、生徒会役員選挙も主権者教育の一環と位置づけ、瀬戸市選挙管理委員会の協力で記名台や投票箱を借用して行っています。本番さながらの雰囲気の中、生徒たちは程よい緊張感をもって一票を投じていました。後期の執行役員の活躍も期待します。



校内草刈り奉仕活動

9月26日(土) 6:50～10:00

本年度もコミュニティ・スクールの活動の一環で、校内の草刈り奉仕活動を行いました。早朝から地域の方や保護者、生徒が集まり、敷地内の緑化整備に汗を流していただきました。刈った草は数日乾燥させた後、生徒が袋詰めを行い片づけました。



保護者の皆様へ

10月14日(水)の文化祭当日は、会場の文化センターで他のイベントも開催予定であり、混雑が予想されるため、午後の保護者用駐車場の台数を制限させていただきます。お子さまにはできるだけ徒歩で来場するよう、ご協力をお願いいたします。なお、お車でお越しの場合、駐車できない場合や渋滞が生じる可能性があります。あらかじめご了承ください。ご不便をおかけしますが、何卒よろしくお願い申し上げます。